

札幌学院大学

コミュニティ・カレッジ

COMMUNITY COLLEGE

2024年度 前期講座のご案内

対面講座

1. 「脳トレ」で記憶力アップを目指そう
大宮 秀淑
2. 「内なる発達障害から見た」対人ストレスの心理学
品川 博二
3. なぜ、障害者福祉の映画を追いかけてきたのか？
～時代を撃つテーマに挑戦してきた思い～
中橋 真紀人 二通 諭
4. 今年の経済展望とマネープラン
白根 壽晴
5. 医療と介護とお金 ～備えと現場のはなし～
中谷 俊雄 石田 潔
6. ヨーロッパ、そして日本とアメリカの
第2次世界大戦—現代の展開—
倉田 稔
7. モエレ沼公園の歩き方
イサム・ノグチの「レジャー空間の彫刻」を読み解く
児玉 哲明
8. 虐待・愛着障害・家庭内暴力・発達障害・場面緘黙・
ひきこもり支援の最前線
—当事者性を抱える若者たちの支援実践から—
大橋 伸和 二本松 一将 二通 諭
9. 北海道中小企業の経営課題解決の方法と事例 A
中田 和則 川嶋 留美 蒔田 義一
10. 北海道中小企業の経営課題解決の方法と事例 B
成田 昌幸 南 優香 扇谷 芳憲
11. 日々の生活の中で写真を楽しむための基礎講座
人物写真を学ぶ ～講座の成果を展示発表しよう！～
浅野 久男

オンデマンド講座

12. FP技能士試験を通じて学ぶ、お金と人生設計
中谷 俊雄

英会話講座（対面講座）

- E1. 初級英会話 Brendon Muir
- E2. 初中級英会話 Koch Junior, J.C.
- E3. Global Issues in English
Timothy Grose

主催 ◆ 札幌学院大学社会連携センター / 後援 ◆ 北海道教育委員会・札幌市教育委員会 / 提携 ◆ えべつ市民カレッジ

ごあいさつ

市民の皆様

札幌学院大学が、札幌市中心部に拠点を設け生涯学習のための講座「コミュニティ・カレッジ」を開設して、今年で25年目を迎えます。私どもはこれまで市民の皆様のご要望にお応えするとともに、大学らしさを堅持しながら、親しみやすくかつわかりやすい講座をモットーに活動を続けてまいりました。これまで継続してこられたのも、ひとえに市民の皆様のご支援とご鞭撻があったからこそであり心より感謝申し上げます。

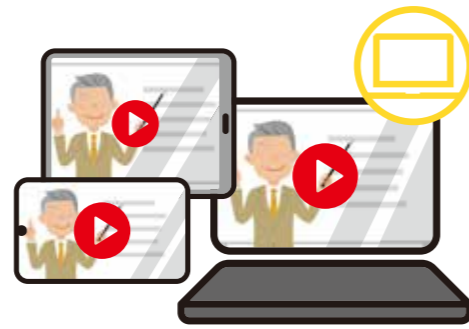
2024年度前期におきましても多彩な講座を用意しました。この学びの場で、市民の皆様とお会いできますよう、そして今後とも私どもの活動に変わらぬご支援を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

札幌学院大学社会連携センター長 渡邊 慎哉

2024年度前期は対面講座とオンデマンド講座を開催いたします。



対面講座



オンデマンド講座

札幌学院大学 新札幌キャンパス 交通アクセス

〒004-8666
札幌市厚別区厚別中央1条5丁目1-1

* 地下鉄東西線
新さっぽろ駅1番出口1分

* JR千歳線
新札幌駅からサンピアザ経由徒歩5分

受講者用の駐車場はございません。
お車でお越しの際は、近隣の有料駐車場をご利用ください



- 開講場所：札幌市厚別区厚別中央1条5丁目1-1 札幌学院大学 新札幌キャンパス
- 講座当日は、札幌学院大学新札幌キャンパス1階 社会連携センターにて受付を行います。
- 土曜日の学生食堂は営業していません。

対面講座

講座番号

1

「脳トレ」で記憶力アップを目指そう

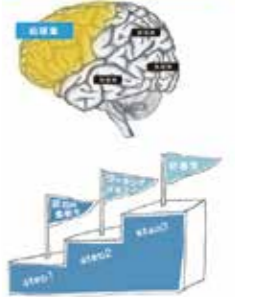
定員/40名

受講料/2,400円(全2回)



対面

見ている = 見えている?



私たちの毎日の生活では記憶力や集中力が不可欠です。それにも増して大事な脳の機能は「遂行機能」です。これは日々の生活の段取りを立てたり、優先順位を明確にしたり、思わぬアクシデントに臨機応変に対応したりする能力です。今回の講座では昨年の内容からパワーアップした脳トレをお伝えし、皆様の日々の生活がよりスムーズになるよう最新の情報をお話したいと思います。

回	テーマ/講座日	内容
1	脳トレの理論と実践 6月3日(月) 午前 9:45~11:15	脳トレの理論と実践について解説します。脳トレとはどのような内容で効果はどのように現れるものなのかについて、研究によって効果が実証されている教材を用いながら具体的にお伝えしていきます。
2	遂行機能を鍛えよう 6月17日(月) 午前 9:45~11:15	注意力や記憶力といった認知機能の一つである遂行機能に焦点を当てたトレーニングを行います。基本的には紙と鉛筆を使いながら進めていきますので、ご自宅でも継続的に実践することが可能な内容になっています。

講師/札幌学院大学心理学部教授 大宮 秀淑

講師紹介

大宮 秀淑(おおみや ひでとし) 1973年生まれ。北海道大学大学院保健科学院博士後期課程修了(博士(保健科学))。精神疾患を有する者の認知機能改善を研究テーマとしている。札幌学院大学心理学部教授。公認心理師、臨床心理士。

講座番号

2

「内なる発達障害から見た」対人ストレスの心理学

定員/50名

受講料/2,400円(全2回)



対面

「心の臨床」に携わるカウンセラーとして、狭義の診断にこだわらなければ、最近は「発達障害(精神発達症)」のクライアントさんが増えていると感じる。それは、「発達障害っぽい人が増えた」という外の現象よりは、援助者としての自身に「発達障害の傾向」が多いという内的体験である。この視点からは、様々な対人ストレスや対人トラブルの背景には、発達障害の影響が読み取れる可能性が出てくる。多くの人々があまり自覚していない、これらの「内なる発達障害」について気づきを深めたい。

回	テーマ/講座日	内容
1	「内なる発達障害から見た」対人ストレスの心理学 ①理論的考察 6月13日(木) 午後 13:30~15:00	発達障害とは、①中枢性統合の障害、②「心の理論」の障害、③行動能動性の障害で構成されていると言われている。これらを、実際の事例や実験から、考察を加えたい。
2	「内なる発達障害から見た」対人ストレスの心理学 ②体験的理解 6月14日(金) 午後 13:30~15:00	「内なる発達障害から見た」対人ストレスの心理学の実習として、シェアリング法をグループに分かれて体験してみよう。

講師/NPO 法人日本ケア・カウンセリング協会代表理事/臨床心理士・公認心理師 品川 博二

講師紹介

品川 博二(しながわ ひろじ) 臨床心理士・公認心理師。1949年東京生まれ。早稲田大学卒業後、東京教育大学(現筑波大学)で臨床研修。磯ヶ谷病院心理室長を経て、2000年NPO 法人日本ケア・カウンセリング協会設立(代表理事)。東京学芸大学・目白大学大学院講師、横浜地裁の精神鑑定人および聖路加国際病院精神腫瘍科を歴任。著作に「アマデウス・シンドローム」、「死別から共存の心理学」他多数。

講座番号

3

なぜ、障害者福祉の映画を追いかけてきたのか？ ～時代を撃つテーマに挑戦してきた思い～



定員 / 100名

受講料 / 3,000円(全1回)

自主製作・自主上映というユニークな独自路線で取組みを進めてきた中橋真紀人プロデューサーの基軸は障害者福祉。アジアを中心に海外で上映され、影響を与えたアニメーション「どんぐりの家」は、重度重複障害者とその家族の生活のリアルと内面世界を描いた。車椅子バスケットボールに光を当てた「ウィニング・パス」は、松山ケンイチと堀北真希のデビュー作でもあった。本講座では、映画人・中橋真紀人の足跡を辿りながら、精神障害者の処遇と医療の歴史を俎上に載せた記録映画「夜明け前～呉秀三と無名の精神障害者の100年～」を鑑賞する。そのうえで、作品の背景やエピソードなどを語り合う。

回	テーマ / 講座日	内容
1	「どんぐりの家」、「ウィニング・パス」から「夜明け前～呉秀三と無名の精神障害者の100年～」へ 7月20日(土) 午後 13:00～15:40	「どんぐりの家」、「ウィニング・パス」の一部を鑑賞しながら、作品に込めた思いを語る。「夜明け前～呉秀三と無名の精神障害者の100年～」を鑑賞し、製作の動機、裏話などを交えながら、障害者問題の解決の行方や、映画の果たす役割や可能性について語り合う。

講師 / 映画プロデューサー 中橋 真紀人 コーディネーター / 札幌学院大学名誉教授 二通 諭

講師紹介

中橋 真紀人 (なかはし まきと) 1951年生まれ。東京教育大学文学部卒業。東京教育大附属駒場中学・高校の在学中から、独立プロダクションの自主上映活動に参加。1997年のアニメ「どんぐりの家」(第1回文化庁メディア芸術祭優秀賞受賞)は全国3300回、120万人が鑑賞。2002年に夜間中学で学ぶ人々の長編ドキュメンタリー「こんばんは」(文化庁映画大賞)、2003年に車椅子バスケットボールの青春を描く「ウィニング・パス」、2007年に精神障害者の社会復帰を描く「ふるさとをください」。2018年に「夜明け前 呉秀三と無名の精神障害者の100年」を製作。2019年に内閣府の「バリアフリー・ユニバーサルデザイン功労者」優秀賞受賞。社会福祉法人一妻会(麦の郷)の研究組織である一般社団法人障害者映像文化研究所の常務理事。



二通 諭 (につう さとし) 1951年生まれ。1974年北海道教育大学札幌分校卒業後、北海道石狩管内小中学校6校で35年間の教員生活を送り、2009年から札幌学院大学准教授および教授として主に特別支援教育関連科目を担当。2019年4月より札幌学院大学名誉教授。2021年10月より札幌大谷大学社会学部地域社会学科特任教授。映画関連の著書として、『映画で学ぶ特別支援教育』(単著2011/8/25)、『特別支援教育時代の光り輝く映画たち』(単著2015/8/9)がある。主に障害者・マイノリティ映画を取り上げる連載「映画に見るリハビリテーション」(医学書院：『総合リハビリテーション』)は、人間発達と教育の課題を織り交ぜながら27年322本に達している。一般社団法人障害者映像文化研究所・顧問



「夜明け前～呉秀三と無名の精神障害者の100年～」



「ウィニング・パス」



「どんぐりの家」

講座番号

4

今年の経済展望とマネープラン



定員 / 100名

受講料 / 2,400円(全2回)

昨年は経済規模(米ドル建ての名目 GDP)で日本がドイツに抜き去られたとIMF(国際通貨基金)が推測しました。世界の政治経済の中心が欧米から中国・インドを含む多極化への移行期において、日本の衰退が際立っています。年初から能登地震と航空機事故など、不測の展開で始まった今年の経済展望と私たちの暮らしとお金への影響を、生活者目線で具体的に解説し、危機にもチャンスにも対応できるマネープランを研究します。

回	テーマ / 講座日	内容
1	経済衰退の日本の新たな立ち位置は？ 私たちはこれにどう備えるか？ 5月11日(土) 午前 10:00～12:00	円安と資源価格の高騰などにより昨年は諸物価の値上がりを実感した一年でした。インフレで国民の預貯金が目減りする一方、政府債務も負担軽減できるという「インフレ課税政策」に対抗できるプランが必要です。
2	長期国際分散投資で 安心な人生設計を 5月11日(土) 午後 13:00～15:00	新NISAを利用して資産形成には一定の時間が必要で、年齢や運用期間に関係なく「国際」と「分散」の視点は不可欠です。世界と日本の成長分野を見極めて少額でも資産形成を始めれば、変化への対応も進みます。

講師 / 札幌学院大学大学院非常勤講師 白根 壽晴

講師紹介

白根 壽晴(しらね としはる) 1954年東京都生まれ。早稲田大学法学部を卒業後、住友電気工業を経て税理士登録。1997年にエフピーインテリジェンス設立。現、代表取締役。ライフプランに基づくコンサルティングや執筆、大学や金融機関での講演活動など幅広く活躍。資産運用アドバイスに強いFPとして定評がある。「オーナー社長の資産戦略と実務」「定年後のお金全疑問45」など著書も多数。日本FP協会理事長 CFP®・税理士。

講座番号

5

医療と介護とお金～備えと現場のはなし～



定員 / 50名

受講料 / 3,600円(全3回)

イザというときのお金を保険で備えている人も多はず。でもその保険はあなたのリスクにあったものですか？ また、療養中や介護のときにお金の準備だけで生活は満たされるのでしょうか？

この講座ではファイナンシャル・プランナーと医療ソーシャルワーカーが、社会保険や医療保険で準備できること、病気や介護のときに抱えることの多い悩みや不安を助けてくれる制度やサポートの賢い活用の仕方について学び、一緒に考えます。

回	テーマ / 講座日	内容
1	リスクと保険 ～自分の保険は使える保険？～ 5月29日(水) 午後 13:30～15:00	入院や介護、死亡時のお金の準備として、民間保険に入っている方は多いはず。でも、その内容は自分に合っていて、イザというときに使えるものですか？社会保険で準備できていることと民間保険の準備できることを解説します。 講師 / 札幌学院大学非常勤講師 CFP® 中谷 俊雄
2	もしも病気になったら ～医療ソーシャルワーカーを活用しよう～ 6月5日(水) 午後 13:30～15:00	あなたは、もしも病気になったら、どんな悩みを抱えるのでしょうか？「入院費用の支払いはどうする？」「退院したけど歩けず通院できない…」等、不安は尽きないはず。そのような療養上の悩みについてソーシャルワーカーが行う支援や、活用できる制度について解説します。 講師 / 医療ソーシャルワーカー 石田 潔
3	事例検討 ～安心できる生活をめざして～ 6月12日(水) 午後 13:30～15:00	第1・2回の解説をふまえて、万が一病気になっても万全な診療費の工面や運用等の事前準備、また療養中や回復後の生活を安心して送るためにできることを、事例をもとに皆さんで考えます。 講師 / 中谷 俊雄、石田 潔

※第3回は、ディスカッション形式で行います。

講師紹介

中谷 俊雄(なかたにとしお) 1973年生まれ。札幌学院大学大学院修士課程修了。不動産業界を経て2001年からFP業に従事。2005年にFPオフィスライズ設立(岩見沢市)。個人および法人従業員のライフプラン相談の他、大学、カルチャースクールで投資講座、FP資格の取得講座を開講。「イメージで攻略わかる！受かる！FP2級AFP」(執筆協力、マイナビ出版)他。札幌学院大学大学院、経済経営学部非常勤講師。CFP®、1級FP技能士、宅地建物取引士。

石田 潔(いしだきよし) 1978年生まれ。小樽中央病院地域医療福祉連携室長。社会福祉士。医療ソーシャルワーカー。札幌学院大学大学院地域社会マネジメント研究科修士課程・北星学園大学大学院社会学部福祉学研究科修士課程修了。公職は(一社)北海道医療ソーシャルワーカー協会業務執行理事・おたる地域包括ビジョン協議会委員等。

講座番号

6

ヨーロッパ、そして日本とアメリカの第2次世界大戦 —現代の展開—



対面

定員／50名

受講料／3,600円(全3回)

第1次大戦の終結で現代がやってきた。その後、同じような世界戦争が起きてしまった。この第2次大戦は、欧米と日本にとって現代最大の歴史的事件であった。そして日本の運命にとっても最重要の歴史であった。これらはどうして起きてしまったのか。これを批判的に吟味し、世界と日本を、そしてこれが生み出した多くの問題を考えてみたい。

回	テーマ／講座日	内 容
1	ヨーロッパでの第2次大戦 5月16日(木) 午後 13:30~15:00	第2次大戦がどのようにして起きたか、ヨーロッパを中心に見る。これを準備したのはドイツであった。
2	日本の大東亜戦争と太平洋戦争 5月23日(木) 午後 13:30~15:00	第2次大戦が日本でどのように始まってしまったか。日本の軍部が朝鮮・中国に侵出した。大東亜戦争が太平洋戦争をもひきずり起こした。
3	世界の4つ巴の闘争とその決着 5月30日(木) 午後 13:30~15:00	ドイツとソ連が戦い合い、そしてアメリカが戦争に加わることで、大戦争となり、終結へと向かった。

講師／元札幌学院大学教授 小樽商科大学名誉教授 倉田 稔

講師紹介

倉田 稔 (くらた み の る) 1941年生まれ。慶応義塾大学大学院経済学研究科博士課程修了。小樽商科大学名誉教授、元札幌学院大学特別専任教授。アムステルダム研究所留学 ウィーン大学留学 オーストリア抵抗研留学。北大、藤女子大、東北大などでも教える。著書に『金融資本論の成立』『ハブスブルク歴史物語』など多数。経済学博士(慶大)。

講座番号

7

モエレ沼公園の歩き方 イサム・ノグチの「レジャー空間の彫刻」を読み解く



対面

定員／50名

受講料／3,600円(全3回)

20世紀を代表する彫刻家の一人とされる日系アメリカ人イサム・ノグチの最後にして最大の作品となったモエレ沼公園(札幌市東区)は、不思議な空間です。これは公園なのでしょうか、それとも現代アート?どちらも正解なのです。ただし、様々な巨大造形は、ノグチが1930年代以降、アメリカで実現を試みたパブリックアートを参照しないと読み解けません。本講座では、私自身によるアメリカでの取材・調査の成果である写真や資料をふんだんに紹介しながら、同公園は、札幌の人々が思い思いに楽しんでこそ、彼が目指したアートになるということを解説します。

回	テーマ／講座日	内 容
1	二つの《プレイマウンテン(遊び山)》 5月10日(金) 午後 13:30~15:00	1930年代、大不況に苦しむニューヨークで、ノグチは社会参加の芸術を模索し始め、抽象彫刻でもあるレクリエーション施設という造形に至る。しかし実現できないまま、死の直前、同じタイトルの造形を札幌で制作する機会を得た。二つの作品の違いと共通性を考察する。
2	《テトラマウンド》という枯山水 5月17日(金) 午後 13:30~15:00	1970年代、自動車産業衰退で荒廃するデトロイト都心の再生を願って、ノグチは巨大な噴水彫刻を完成させる。モエレでは、水が吹き出すことがない「噴水」造形をデザインした。この何とも奇妙な築山の意味を考える。
3	「空から見る芸術」としての《モエレ山》 5月24日(金) 午後 13:30~15:00	巨匠となったノグチは、札幌郊外の廃棄物処理場にフォルムを与えることこそ「僕のやる仕事です」と言い切った。死を予感しながらも、彼はなぜ、ゴミの山を築くことに執念を燃やしたのか。解釈が難しい、この造形の謎に迫りたい。

講師／北海道芸術学会員 児玉 哲明

講師紹介

児玉 哲明(こだま てつあき) 北海道芸術学会員(アメリカ20世紀美術研究)、ジャーナリスト。1955年広島県生まれ。東京大学文学部西洋史学科卒業後、朝日新聞社に入社。北海道支社報道部、東京本社社会部の記者として、幌延高レベル放射性廃棄物貯蔵施設誘致問題、昭和天皇闘病と逝去、東京臨海副都心開発などの報道に携わる。同社退職後、放送大学大学院で修士号取得。修士論文は「レジャー環境の彫刻 1930年代ニューヨークとイサム・ノグチ《遊び山》」。国内外のパブリックアートやモニュメントの研究を続けながら、これらを題材にした歴史・美術教育のあり方を探っている。

講座番号

8

虐待・愛着障害・家庭内暴力・発達障害・ 場面緘黙・ひきこもり支援の最前線 —当事者性を抱える若者たちの支援実践から—



対面

定員／50名

受講料／2,400円(全2回)

企画者である二通は札幌学院大学在職時に、発達障害や精神的な困難を抱える学生たちと『雑談会』(2011年6月～2020年2月)と称する学内自助グループを運営していた。本企画は、『雑談会』を自己形成の場の一つとしていた二人の若者の人生の軌跡と、現在進行中の当事者性を活かした支援実践にフォーカスしたものである。いかにして、自分史におけるネガティブなものがポジティブなものへと反転するのか。その手がかりを探る。

回	テーマ／講座日	内 容
1	自分史をふまえたピア・サポーターの実践 —そこから見える社会の課題— 6月1日(土) 午後 13:30~15:00	困難多き人生を歩まざるを得なかった私。その要因は個人だけではなく社会にもあった。そんな当事者としての経験と、「当事者性」を支援活動の基盤とするピア・サポーター」としての実践を語る。「普通」という社会的価値観では、現在の職には辿り着けなかったということも伝えたい。ピア・サポーターの視座から多様性が尊重される社会の実現への展望を語る。 講師／場面緘黙・不登校・ひきこもり経験者、さっぽろひかり福祉会ピア・サポーター 大橋 伸和
2	子どもと家族を覆う貧困と虐待 —自分史を支援実践に反転させた 取り組みから見えてきたこと— ※大橋、二本松、二通の鼎談を含む 6月1日(土) 午後 15:20~17:20	実母の精神疾患による暴力に耐え、生活をサポートせざるを得なかった幼少期。自身の16歳の誕生日に両親が離婚。父親と暮らすも生活費はなく、高校も不登校気味となり、拒食症を経験した。大学進学後に自身の子どもの経験は虐待であると認識した。二通教授との出会いをきっかけに子ども支援の世界に飛び込む。子ども食堂の開設や研究、児童相談所の勤務経験を得て、地域の大人や支援者は「困っていきそうな子ども」をどのように発見し、関わる事ができるかを検討する。 講師／被虐待経験者・愛着障害自認者、元児童相談所一時保護所職員、認定NPO法人おてらおやつクラブ職員 二本松 一将

コーディネーター／札幌学院大学名誉教授 二通 諭

講師紹介

大橋 伸和(おおはし のぶかず) 1984年札幌生まれ。小学4年生で発症した場面緘黙症は13年に及び、その間、不登校・ひきこもりを経験。場面緘黙症を克服した後も、鬱病、相貌認知障害、音過敏などに苛まれる札幌学院大学時代に教員の二通と学内自助グループ『雑談会』を立ち上げ、卒業後はいくつかの機関(札幌市集団型支援拠点「よりどころ」、特定非営利活動法人レター・ポスト・フレンド相談ネットワークほか)で、ひきこもり等の支援実践を積み、現在は社会福祉法人さっぽろひかり福祉会でピア・サポーターとして相談業務や講師活動を行っている。主な論文として「場面緘黙とひきこもり—自分史をふりかえって—」(日本特別ニーズ教育学会[SNE ジャーナル]第24号)がある。

二本松 一将(にほんまつ かずまさ) 1994年東京都江戸川区生まれ。16歳の誕生日に両親が離婚。親から棄てられるも寿司屋で働き、高校を卒業。奨学金を活用して東京から単身、札幌学院大学に入学。大学での学びをとおして、自身に虐待由来の愛着障害性があることを発見。「子ども食堂ここなつ」の学生代表を経て、「子ども食堂」研究に打ち込み、「子ども食堂」関連の講演活動を旺盛に展開。さらに、児童相談所一時保護所夜間指導員として6年間で500人以上の子どもたちとしかかわる。現在は認定NPO法人おてらおやつクラブ事務局員として、お寺の「おそなえ」を仏さまからの「おさがり」として、全国の子ども支援団体や、さまざまな事情で困りごとを抱えるひとり親家庭の子どもたちへ「おすそわけ」する活動に取り組んでいる。主な論文として、「被虐待経験による愛着障害性による克服の一考察 —自己対象化による記憶と感情の再体験を手掛かりにして—」(『道民教紀要みんきょう第134号』)、「北海道における子ども食堂の現状と課題」(『道民教紀要みんきょう第135号』)がある。

二通 諭(につう さとし) 1951年2月札幌郡手稲町生まれ。1974年北海道教育大学札幌分校卒業後、石狩管内小中6校で35年間の教員生活を送り、2009年から札幌学院大学教員として主に特別支援教育関連科目を担当。2011年6月より、札幌学院大学において、発達障害や精神的な困難を抱える学生の自助グループ『雑談会』を立ち上げる。2019年より札幌学院大学名誉教授。2021年10月より札幌学院大学社会学部地域社会学科特任教授。単著として「映画で学ぶ特別支援教育」(2011/8/25) 「特別支援教育時代の光り輝く映画たち」(2015/8/9)などがある。長期連載中の「映画に見るリハビリテーション」(医学書院:『総合リハビリテーション』)は27年、322本に達している。

講座番号

9

北海道中小企業の経営課題解決の方法と事例A



対面

定員／30名

受講料／3,600円(全3回)

北海道の中小企業は、現在、様々な経営課題に直面しています。経営者の後継者不足と人手不足問題、円安による原材料費の高騰問題、環境問題、道外への積極的販路拡大問題などなどです。北海道の公的支援機関である北海道中小企業総合支援センターに所属している3名の経営支援の専門家による様々な課題取り組みの具体的な事例を参考に、不確実な時代を悠々と乗り越えていくヒントにしていきましょう。

回	テーマ／講座日	内容
1	事業承継と経営革新事例 5月18日(土) 午前 9:00~10:30	中小企業経営者の高齢化により、廃業件数が増加、北海道経済の基盤が揺らいでいます。実は、事業承継のピンチが経営発展へのチャンスです。事業承継の現状・取組・具体的事例を考察し、次世代経営へのパトタッチを考えます。 講師／NAKATA OFFICE 代表 中田 和則
2	プロモーション戦略支援と事例 5月18日(土) 午前 10:40~12:10	どの業種・店舗も「認知度を上げたい、集客に繋げたい、リピート率を上げたい」と願っています。誰かが宣伝してくれるのを待つのではなく自らが積極的に情報発信する時代。SNSを活用した広報についての考え方と方法を事例を用いてお伝えします。 講師／LIFEMAP クリエイト代表 川嶋 留美 コーディネーター／中田 和則
3	マーケティング戦略における売上拡大の具体例 5月18日(土) 午後 13:00~14:30	北海道内の中小企業が抱えている売上拡大の課題を、マーケティング手法により、具体的な事例を基にして、解決方法を作り出す。その分析方法に関して、参考例をあげる。 講師／北海道食のブランド推進協議会 コーディネーター 蒔田 義一 コーディネーター／中田 和則

講師紹介

中田 和則(なかた かずのり) NAKATA OFFICE 代表。都市銀行 政府系金融機関を定年退職後に、小樽商科大学経営管理大学院(MBA)北海道大学会計専門職大学院を修了。現在、北海道中小企業総合支援センターの事業承継チーフコーディネーターや公的機関の専門家として数多くの中小企業の事業承継や経営支援を実践。大学非常勤講師や金融機関等の研修講師、信用金庫の顧問も兼務。

川嶋 留美(かわしま るみ) LIFEMAP クリエイト代表。信販会社・道路交通情報センターを経てフリーアナウンサーとして独立。北海道の情報番組で12年間テレビポーターとして活動(旅やグルメ、企業案件などを担当し数々のお店や商品を紹介)。現在は、北海道よろず支援拠点をはじめ公的機関の専門家として広報や SNS 活用支援をおこなっている。また経営者向けのコーチングや、セミナー講師、企業研修も行っている。

蒔田 義一(まきた よしかず) 一般社団法人北海道食のブランド推進協議会 コーディネーター。北海学園大学経済学部卒業後、日糧製パン(株)入社。食品マーケティング・商品開発を実践。東京本社工場にて量販店対応。一廣(株)で事業開発室室長として関連企業の管理・経営。FEELTECH CO.,LTD を韓国の友人と起業、副社長。熊本県にて花卉園芸認定農業者資格を取得。農業生産法人ココファーム(株)、新規物産館建設に当たり、社員教育・商品開発・レイアウトの責任者。その後、アグリフード企画を設立。中小企業5社の顧問。現在、北海道よろず支援拠点コーディネーター、8年のキャリアを積む。

講座番号

10

北海道中小企業の経営課題解決の方法と事例B



対面

定員／30名

受講料／3,600円(全3回)

北海道の中小企業は、現在、様々な経営課題に直面しています。経営者の後継者不足と人手不足問題、円安による原材料費の高騰問題、環境問題、道外への積極的販路拡大問題などなどです。北海道内で活躍している札幌学院大学卒業生3名(SDGsに取り組んでいる経営者、経営者サポートに活躍している税理士、地域貢献の実践に取り組んでいる金融機関支店長)による様々な課題取り組みの具体的な事例を参考に、不確実な時代を悠々と乗り越えていくヒントにしていきましょう。

回	テーマ／講座日	内容
1	民間企業による地域社会貢献とSDGsの取り組み 6月8日(土) 午前 10:30~12:00	企業(自社)の存在意義とは何なのか。そしてその事業を承継するには何が必要なのか。事業承継は、承継者が株式を売却して退職し終わるわけではありません。残された中小企業の持続的な経営を担う次世代経営者には、レジリエンスな精神と確固たる戦略が必要です。私が見本を示しますのでご参考あれ。 講師／リアックスグループ株式会社代表取締役 成田 昌幸 コーディネーター／中田 和則
2	税理士による事業承継と経営改善支援 6月8日(土) 午後 13:00~14:30	高齢化社会の最大の課題、事業承継 1. 後継者不足 2. 経営者の意識不足 3. 法的・税務的課題 4. 資金課題 の課題を克服するために、税理士として自分自身の事例やサポート実践事例を基にどのように支援しているかをお伝えします。 講師／南優香税理士事務所 所長 税理士 南 優香 コーディネーター／中田 和則
3	地域金融機関による経営支援と地域貢献活動 6月8日(土) 午後 14:40~16:10	1. 中小企業事業者への伴走型支援 事業性評価、事業承継他 2. 地域に対する課題解決支援 地域密着型の信用金庫の現場での活動について、実体験や具体的事例を交えながらお伝えいたします。 講師／日高信用金庫えりも支店長 扇谷 芳憲 コーディネーター／中田 和則

講師紹介

成田 昌幸(なりた まさゆき) リアックスグループ株式会社 代表取締役。札幌学院大学商学部卒業。現在、地下観察カメラ国内シェア9割の(株)リアックスに学生アルバイトとして入社。その後、小樽商科大学大学院商学研究科アントレプレナーシップ専攻(MBA)修了。2017年に事業承継しオーナー社長に就任。海外展開ではJICAと協力し、干ばつ被害の南米ボリビアにおける井戸復旧工事に取り組むなどSDGs活動推進による地域貢献を実践。これまでに北海道新技術・新製品開発賞等の受賞歴多数。2023年10月に会社を吸収分割しグループ経営基盤を整備。

南 優香(みなみ ゆうか) 南優香税理士事務所 所長 税理士。2002年3月札幌学院大学商学部商学科卒業。保険会社に入社し、法人営業として1年経過した頃、税理士である父の脳梗塞をきっかけに税理士を目指す。2010年12月税理士試験合格。2013年頃から事業承継準備を行い、2019年1月事業承継により「南優香税理士事務所」開業。自身の事業承継の経験を活かし、事業承継の専門家として顧問先の他、日高地方、旭川地方など専門家派遣により事業承継支援を行っている。

扇谷 芳憲(おおぎや よしのり) 日高信用金庫 えりも支店長。1994年3月札幌学院大学商学部商学科卒業。同年4月に日高信用金庫へ入庫。入庫後、各支店で勤務し、預金、融資、営業を担当。2019年に本店融資部経営相談課長となり、営業店と連携して、お客様の事業承継、経営改善等、伴走型支援に傾注する。2022年から支店長として部下および担当課と一緒に、お客様、地域に寄り添い、伴走型支援を実践している。

講座番号

11

日々の生活の中で写真を楽しむための基礎講座 人物写真を学ぶ～講座の成果を展示発表しよう!～



対面

定員 / 20名

受講料 / 12,000円(モデル料金含む)(全5回)

コロナ禍の3年の間にデジタル写真撮影のシステムが急激に変化しています。これまでの一眼レフからミラーレス一眼への流れは今まで以上に簡単に撮影が楽しめるようになり、そして機材の小型化が進んでいます。

日々の生活の中で写真を撮影したり、撮影技術の習得を通じて皆さんの自由な視点で表現をし、写真を通じて「発信」していこうと思います。写真撮影実習と座学を通して撮影技術と写真についての考え方を学んでいきます。ただ写真を撮るためだけでなく、長く写真とつきあっていくことを目指します。

各カメラの個別の使用方法を教えるものではありませんのでご注意ください。(カメラの使用法が解らない方は取り扱い説明書を必ずご持参ください。)

回	テーマ / 講座日	内 容
1	<座学> 写真と親しむには～写真を撮るための基礎知識 6月29日(土) 午前 10:00~11:30	「写真とは何だろうか」「簡単に写真を撮りたい」様々な写真に対する問いかけを皆さんもお持ちだと思います。この講座の目的である「毎日を写真と過ごすため」に知っておくべきことを撮影方法だけではなく「写真とはなんだろう」という問いかけからまず考えてみませんか？ ※カメラをご持参ください
2	人物撮影実習(1) 札幌学院大学新札幌キャンパス 6月29日(土) 午後 13:00~14:30	写真の基本である人物撮影(ポートレート)実習を実際にプロのモデルさんをお招きして行います。 モデルさんへの声かけやポージング、フィルターなどを活用した手法などを学んでみます。講師と一緒に撮影するので初心者の方でも安心してお楽しみください。
3	<座学> 撮影解説(1)撮影をふりかえる／写真を知る～写真を楽しむための基礎知識 7月6日(土) 午前 10:00~11:30	受講生の皆さんが撮影したものを、モニターを見ながら直接アドバイスします。具体的にどのように撮影したらよりよくなるかを一緒に考えていきます。撮影を通して今回の講座で得たものを発表していきます。 1回目の講座に引き続き、簡単にこれまでの写真家の写真作品の系譜を学ぶとともに、写真を見る楽しみに必要なことを学びます。
4	人物撮影実習(2) 札幌学院大学新札幌キャンパス 7月13日(土) 午前 10:00~11:30	写真の基本である人物撮影(ポートレート)実習を実際にプロのモデルさんをお招きして行います。2回目の撮影はライティングなどの撮影に必要なテクニックを講師と一緒に撮影するので初心者の方でも安心してお楽しみください。
5	<座学> 撮影解説(2)撮影をふりかえる／写真を知る～写真を楽しむための基礎知識 7月13日(土) 午後 13:00~14:30	受講生の皆さんが撮影したものを、モニターを見ながら直接アドバイスします。具体的にどのように撮影したらよりよくなるかを一緒に考えていきます。2回の撮影実習を通して今回の講座で得たものを発表していきます。 今講座の成果を展示するために出展作品のセレクトを行います。

講師 / 社団法人日本写真家協会会員 日本旅行写真家協会会員 浅野 久男

講師紹介

浅野 久男(あさの ひさお) 1963年生まれ。札幌学院大学人文学部人間科学科卒業後、写真撮影会社を経て2007年エムフォトワークス設立。北海道を中心に、旅と風景を題材とした撮影活動を続ける。高校や札幌市生涯学習財団などで写真講座を担当する。洞爺湖サミット(2008年7月開催)の際に各国首脳に寄贈された、記念写真総集「北海道北の記憶」にも作品が掲載されるなど幅広く活動している。写真展も数多く開催。札幌市写真文化振興事業・東川町国際フォトフェスティバル企画委員など「芸術と街づくり」などの活動も続けてきた。公益社団法人日本写真家協会会員、公益社団法人日本写真協会会員、日本旅行写真家協会正会員。
 ブログ / 「旅する写真家浅野久男写真通信」 http://blog.livedoor.jp/asano_hisao/

オンデマンド講座

講座番号

12

FP技能士試験を通じて学ぶ、お金と人生設計



オンデマンド

配信期間 / 5月8日~9月30日

受講料 / 21,600円(全12回)

3級FP技能士試験が通年で受験できるようになります。長生きの時代にはどのような資産形成にするかを考えておくことが大切です。そのため「私に合った保険は?」「私の年金はいくら?」など“一般的には”ではなく、各々が自分のお金とライフプランを考えられるようになることが必要です。当講座では、総合的で基礎的なお金の知識を養う学習として「3級ファイナンシャルプランニング技能士」の資格取得を目指します。

回	科目名	主な内容	配信日(予定)
1	ライフプランニングと資金計画①	人生三大支出(教育、住宅、老後)と社会保険を学びます。住宅ローンの組み方や教育資金の準備、年金の仕組みなどを理解する内容です。	5月8日(水)
2	ライフプランニングと資金計画②		5月13日(月)
3	リスク管理①	生命保険と損害保険を学びます。自分や家族の保険で、必要なものとそうでないものを考えられるようになります。	5月20日(月)
4	リスク管理②		5月27日(月)
5	金融資産運用①	金融商品を学びます。投資などの仕組みを知ると「怖い?危ない?」が「やってみよう!」に変わるかも。	6月3日(月)
6	金融資産運用②		6月10日(月)
7	タックスプランニング①	所得税を学びます。所得税は人生の中で長く付き合う税金です。仕組みを理解して知識を活かすと、生活に直接役に立ちます。	6月17日(月)
8	タックスプランニング②		6月24日(月)
9	不動産①	不動産の取り扱いを学びます。「借りる・買う・売る・活用する」の法律や手法を知ると、不動産の持ち方や活用方法が見えてきます。	7月1日(月)
10	不動産②		7月8日(月)
11	相続・事業承継①	相続と贈与を学びます。“争族”にならないように、相続する側も受ける側も知識と準備が必要な時代です。	7月16日(火)
12	相続・事業承継②		7月29日(月)

講師 / 札幌学院大学非常勤講師 中谷 俊雄

※使用テキスト「イメージで攻略 わかる!受かる!!FP3級 2023-2024年度版」(マイナビ出版)(ISBN: 978-4839983710)を各自で購入してください。6月初旬に年度版が変更となるため、お早めに購入してください。

講師紹介

中谷 俊雄(なかたにとしお) 1973年生まれ。札幌学院大学大学院修士課程修了。不動産業界を経て2001年からFP業に従事。2005年にFPオフィスライズ設立(岩見沢市)。個人および法人従業員のライフプラン相談の他、大学、カルチャースクールで投資講座、FP資格の取得講座を開講。「イメージで攻略わかる!受かる!FP2級AFP」(執筆協力、マイナビ出版)他。札幌学院大学大学院、経済経営学部非常勤講師。CFP®、1級FP技能士、宅地建物取引士。

英会話講座（対面講座）

3クラスを開講いたします。週1回、全12回の講座です。日本での英語教育経験が豊富な、英語を母国語とする（ネイティブ）講師が担当します。なお、レベルはE1（初級レベル）からE3（中級レベル）の順になっています。

コーディネーター／ Timothy Grose（元札幌学院大学人文学部准教授）



講座番号

E1 初級英会話

定員／20名 受講料／21,600円(全12回)

この講座では、日常生活や海外旅行の場面などで使える初歩的な英会話力を身に付けることを目標にします。興味や関心のあること簡単な英語でおしゃべりできるようにやさしく指導します。

講座日時	講師
5月10日(金)～7月26日(金) 午前 9:45～11:15 毎週金曜日 全12回	札幌学院大学講師 Brendon Muir

対象：日常的な場面で使う初級レベルの英会話の力を身につけたい方。

講師紹介 Hi everyone! I'm Brendon. I'm a New Zealander. I have lived in Hokkaido for many years, so I call two places home - New Zealand and Hokkaido. Both of my homes have breathtaking nature in all seasons. I love travelling, seeing new places and communicating with new people. Let's enjoy practising communication together!

講座番号

E2 初中級英会話

定員／20名 受講料／21,600円(全12回)

この講座では、日常生活に必要な基礎的な英語力を高めます。コミュニケーションの力を高めるには、できるだけ多くのフレーズを身につけ、実際に使用することです。英米圏のマナーについての知識なども学びます。

講座日時	講師
5月8日(水)～7月24日(水) 午前 9:45～11:15 毎週水曜日 全12回	札幌学院大学講師 Koch Junior, J. C.

対象：日常生活での基礎的な英会話を身につけたい方。

講師紹介 Hello! I'm Jr Koch. Please call me Jr. I'm originally from Brazil. I used to live in New Zealand, where I taught English to international students. I now live in Hokkaido with my family, and I work at Sapporo Gakuin University. I love studying and teaching, and my hobbies are reading, writing and enjoying a cup of coffee with my friends. Let's enjoy speaking English together!



Brendon Muir 先生



Koch Junior, J. C. 先生



Timothy Grose 先生

講座番号

E3 Global Issues in English

定員／20名 受講料／21,600円(全12回)

The title of this class is 'Global Issues in English'. We will look at some of the environmental and social problems that our world faces. There will be many chances to practice communicating our thoughts about these issues with both controlled language support and more free communication work. A positive attitude and a willingness to try will help you to improve your English communication skills!

講座日時	講師
5月7日(火)～7月23日(火) 午前 9:45～11:15 毎週火曜日 全12回	元札幌学院大学准教授 Timothy Grose

対象：すでに基礎的な英会話を身につけている方。

講師紹介 My name is Tim Grose. I'm from the UK although I have been living in Japan for a long time. My interests are environmental issues, gardening and outdoor activities. Therefore, Hokkaido is an excellent place for me to live and work!

2024年度 英会話講座日程

(各クラス全12回)

曜日	5/10	5/17	5/24	5/31	6/7	6/14	6/21	6/28	7/5	7/12	7/19	7/26
E1 (金)	5/10	5/17	5/24	5/31	6/7	6/14	6/21	6/28	7/5	7/12	7/19	7/26
	初級英会話 9: 45～11: 15 担当講師／Brendon Muir											
E2 (水)	5/8	5/15	5/22	5/29	6/5	6/12	6/19	6/26	7/3	7/10	7/17	7/24
	初中級英会話 9: 45～11: 15 担当講師／Koch Junior, J. C.											
E3 (火)	5/7	5/14	5/21	5/28	6/4	6/11	6/18	6/25	7/2	7/9	7/16	7/23
	Global Issues in English 9: 45～11: 15 担当講師／Timothy Grose											

★ 英語力レベル・オンライン相談会（無料）のお知らせ ★

「自分のレベルはどのクラス？」という方、コーディネーターのTim先生とレベルの相談をしてみませんか。

日程：① 4月5日(金) 10:00～(30分程度)

② 4月8日(月) 10:00～(30分程度)

お申込み期限：4月3日(水) 午後17時まで

お申込み先：sharen@ims.sgu.ac.jp メールでお申込みください。

件名に「Zoom体験会申込」とし、お名前・参加希望日をご記入の上、お申込みください。

4月4日(木) 15:00までに、お申込みのメールアドレスにZoomURLをお送りします。

お申し込みから受講までの流れ

I.【申込期間】

3月21日(木)～4月16日(火)必着

※定員のある講座の受講希望者が開講予定人数に満たない場合は、開講しない場合があります。
 ※定員制限がある講座の定員を超える応募者多数のお申し込みがある場合は、抽選となります。

II.【申込方法】

①インターネット ②FAX ③ハガキでのいずれかになります。※電話によるお申し込みはできません。

①インターネットの場合… <https://www.sgu.ac.jp/rcc/>

②FAXの場合 …………… FAX番号:011-807-0373

③ハガキの場合 …………… あて先:〒004-8666 札幌市厚別区厚別中央1条5丁目1-1
 札幌学院大学社会連携センター「コミュニティ・カレッジ」宛



III.【結果通知】

4月22日(月)以降に申込者全員に封書で通知いたします。

※受講いただける方には、「受講確定通知書」と「受講料の振込用紙」をお送りいたします。
 ※開講予定人数に満たず、開講できない場合は、講座中止のお知らせをお送りいたします。
 ※応募者多数の場合の抽選結果(受講できない場合)は、封書でお知らせします。
 ※4月25(木)までに受講に関する通知が届かない場合は、お問い合わせください。

IV.【受講料の支払方法・受講確定】

受講料は、「受講確定通知書」に記載された金額をゆうちょ銀行または北洋銀行の口座にお振込みください。
 受講料の振込みによって正式に受講確定とさせていただきます。振込みが確認できない場合は受講できませんので、指定された期日までに必ずお振込みください。領収書の発行は原則行っておりません。お振込時の明細書を大切に保管してください。

V.【受講上の注意】

受講確定通知書に講座の開始日が記載されています。
 受講料をお振込みいただいた方には、改めて開講日のご案内はいたしませんのでご承知願います。
 各講座の全日程は、パンフレットおよび本学社会連携センターのホームページにてご覧ください。
 ■1階学生食堂、2階図書館と、講座の教室のみご利用ください(指定された場所以外の立入はご遠慮ください)。
 ■教室でのお食事はご遠慮ください。 ■土曜日の学生食堂は営業していません。
 ●お子様連れでの受講はご遠慮ください。
 ●受講生用の駐車場はありません。
 ○開講場所:札幌市厚別区厚別中央1条5丁目1-1 札幌学院大学 新札幌キャンパス
 ○講座当日は、札幌学院大学新札幌キャンパス1階 社会連携センターにて受付を行います。
 ○室内の空調は、集中管理となっており、温度が変更できない場合があります。衣服の着脱等により適宜ご対応願います。

【キャンセルに関して】

原則としてキャンセルはできません。ただし、やむを得ない事情によりキャンセルを希望する場合は、「受講確定通知書」に記載された受講料支払期限までに必ずご連絡ください。【TEL:(代表)011-386-8111社会連携センター】までご連絡ください。お支払いいただいた受講料は、返金できかねますのでご了承ください。

お申し込み前に必ずお読み下さい。 ●受付時間/9時～17時(月～金)

- お申込者以外の方は受講できません。
- 本学「コミュニティ・カレッジ」の講座は「えべつ市民カレッジ」と連携しております。
- オンデマンド講座の単位認定希望の方へは、単位シールをお送りいたします。視聴した旨を社会連携センターまでご連絡ください。
- 受講生は自動的に「コミュニティ・カレッジ」の会員として登録されます。
- 都合により担当講師が変更になる場合がありますので、ご了承ください。
- 札幌学院大学(その前身の札幌文科専門学院、札幌短期大学、札幌商科大学を含む)の在学学生、同窓生ご本人と、在学学生の保護者の方々には、受講料特別割引制度があります。(ただし教材費などは除きます)その旨、お申し込み時に明示してください。お申し込み時に明示なき場合は、割引制度をご利用いただけません。〔外国語講座と資格対策関係講座は2割引、それ以外の講座は5割引で受講できます。〕
- ご提供いただきました個人情報、今後の講座や札幌学院大学のイベント等をご案内する目的以外には使用いたしません。

お申し込み方法

1. ハガキ・FAXによるお申し込みは、◎に示す項目を記載のうえ、下記あて先にお送りください。

あて先 [ハガキ] 〒004-8666 札幌市厚別区厚別中央1条5丁目1-1
 札幌学院大学社会連携センター「コミュニティ・カレッジ」宛
 [FAX] FAX番号 011-807-0373

◎ハガキ・FAX用紙に記載する事項は下記のすべての項目です。なお、記入漏れなどがありまして受付処理等ができませんので、ご注意ください。お間違のないようご記入願います。

〈はがき用切り取り線〉

講座番号	講座名 (※複数記入可)	
フリガナ		
氏名		
〒	電話番号	()
住所		
年齢	歳	職業
コミュニティ・カレッジを受講したことがありますか		はい or いいえ
同窓生本人	卒業年()年()学部	旧姓()
在学生の保護者	在学生氏名	()学部 ()年
在学生本人	学籍番号()	
コミュニティ・カレッジ講座を何で知りましたか?(○をつけてください)		
①本学の案内 ②区役所、区民センター ③図書館 ④まんまる新聞		
⑤友人・知人 ⑥インターネット(具体的に:)		
⑦その他()		

2. インターネットの場合はこちらからお申し込みください。 <https://www.sgu.ac.jp/rcc/>

札幌学院大学大学院(修士課程)のご案内

大学院においては、専門領域の高度な学識と技能を身につけることを通して、専門職業人として社会の先端で活躍できる人間の育成を目指しています。

地域社会 マネジメント 研究科	夜間・土曜授業などの働きながら学べる環境を有し、地域社会の諸課題を研究対象とし、地域・まちづくり系分野、地域・経営・経済分野及び地域会計分野等のそれぞれの分野でスペシャリストとして活躍し得る人材養成を目的としています。CFP [®] 受験資格を得ることも可能です。
法学研究科	法学や政治学を中心に隣接諸科学の研究成果を総合して、鋭い人権感覚と豊かな国際感覚を備えた、地域社会に貢献できる人材及び高度な専門知識と能力を備えた専門的職業人を養成することを目的としています。税理士資格とCFP [®] 受験資格の取得もサポートしています。 なお、大学卒業を前提としない「出願資格審査」による修士課程の入学も可能です。
臨床心理学 研究科	臨床心理学を中心に心理臨床に関連する諸分野との連携を得ながら、様々の心の問題を心理臨床の視点から取り上げ、公認心理師及び臨床心理士という専門的職業人を養成することを目的としています。道内初の臨床心理士資格認定協会一種認定校としての実績を有しています。

●法学研究科 〒069-8555 北海道江別市文京台11番地

●地域社会マネジメント研究科・臨床心理学研究科 〒004-8666 北海道札幌市厚別区厚別中央1条5丁目1-1

大学院の他、社会人が大学で学ぶ制度として、編入学試験制度、社会人入学試験制度、科目等履修生制度、聴講生制度、研究生制度等があります。詳細についてはお問い合わせください。

TEL.011-386-8111(代) <https://www.sgu.ac.jp>

寄付金ご協力をお願い

札幌学院大学は、地域との連携をコンセプトに新札幌キャンパスを開設いたしました。建学の精神である「学の自由」「独創的研鑽」「個性の尊重」に基づき、今後もより良い教育研究活動を提供できるよう教育環境の一層の充実を目指しております。

コミュニティ・カレッジ事業につきましても、オンデマンド講座など新しい取り組みを実施し、皆さまの生涯学習のニーズに応えるよう努めて参ります。

この度、本学が取り組む教育活動のさらなる充実にご協力を賜りたく、教育振興に関わる寄付金の募集をお願いしております。

つきましては、趣旨にご賛同いただき、格別のご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

コミュニティ・カレッジ受講料の還付

寄付金額に応じて、ポイントによる特典を差し上げております。ポイントは寄付をいただいた月から2年間有効です。コミュニティ・カレッジ受講料の還付に利用する場合は、5ポイントにつき1,000円分が対象となります。具体的には次の通りです。

例)

寄付金額	寄付ポイント	コミュニティ・カレッジ受講料還付額
5,000円	5ポイント	1,000円分
10,000円	10ポイント	2,000円分
30,000円	30ポイント	6,000円分

この他にも大学オリジナルグッズ等にポイントを利用することができます。

寄付による税制上の優遇措置が受けられる場合があります。

寄付についての詳細は、「札幌学院大学教育振興寄付のお願い(趣意書)」または、大学ウェブサイト(札幌学院大学教育振興寄付のご案内 <https://www.sgu.ac.jp/information/donation/>)をご覧ください。

コミュニティ・カレッジのお問い合わせ先

札幌学院大学社会連携センター

〒004-8666札幌市厚別区厚別中央1条5丁目1-1

ホームページ https://www.sgu.ac.jp/renkei_c/ E-mail: sharen@ims.sgu.ac.jp

TEL 011-386-8111(代表) FAX 011-807-0373

受付時間/9:00~17:00(月~金)

